

上田こうたろうの 視点・論点

資源再生 の先がけ！

家庭から出されるゴミ回収は、行政サービスの一つです。しかし、家庭から出される資源も、ゴミとして回収されるのが、いわゆる「資源ゴミ」です。

全国各地の自治体では、この回収費の支出が財政を圧迫し、社会問題となっております。

今、高知県では「資源ゴミはゴミじゃない」という考え方が定着しつつあり、全国的にも大きな広がりを見せています。

ごみの減量と資源の有効利用を図り、資源回収を通じてゴミの処理に対する啓発を目的とする活動ですが、高知市の平和団地や蔦絵台の自治体では早くからこの活動に取り組んでこられま

資源ゴミで



した。上田こうたろうは、こうした地域からの強い要望もあって、平成22年高知市議会6月定例会において、この問題を取り上げ、当時の執行部より、「自治会や子供会等の独自の取り組みは尊重すべきものであると考えております。」という答弁を引き出しました。

この議会答弁もあって、蔦絵台・平和団地は資源の自主再生の取り組みを本格化させ、その先がけとなつて年間100万円を越える資源再生で得た対価を、高知市との合併で中止になった敬老を迎えた方への記念品の贈呈や、さまざまな地域活動の財源として利用しています。

また、平成25年5月9



団地活動費

日の高知新聞夕刊に取り上げられた事で県下各地の自治会からも問い合わせがあり、南国市や香南市など、県内各地に広がりをはじめました。

他県では、京都府中部の丹波地方に位置する南丹市で、家庭から出る資源ごみの集団回収を自主的に実施する団体に対し報奨金を交付しています。

南丹市は、市に登録した地域住民により構成された団体が、資源ごみを一定の場所に収集し、回収業者に引き渡す事業で、これによって市が委託していた回収業者への支払いが削減されました。

対象となる資源ゴミは、古布・新聞紙・雑誌・チラシ・ダンボールなどで、報奨金は南丹市の規定により算出されています。

同様の制度は、近畿では奈良県や和歌山県など、首都圏でも東京都や埼玉県の自治体で取り入れられております。

上田こうたろうは、今

後も高知県をあげてゴミの減量、行政サービスに掛かる経費削減、ゴミ減量を行う地域住民への支援を推し進めてまいります。

フィルムコミッション について



私は、かねてより映像コンテンツをインバウンドに結びつけるべく、さまざまな提案をさせて頂きましたが、いよいよ本年12月19日からLCCのジェットスター・ジャパンによる高知ー成田・高知ー関空線が就航いたします。この2路線の就航により、海外と本県

路線	機体	出発	到着	料額
高知→東京	777-300ER	12:30	14:30	4,990~
高知→大阪	777-300ER	12:30	14:30	3,990~

を結ぶ交通環境は大きく前進するものと期待しております。知事も無限大の可能性があると述べられております。こうした動きを生かし、県全体として高知の魅力をさらに世界へ広げるためには、ドラマや映画、アニメといった映像コンテンツの力は欠かせないと考えております。

本県では、既に皆さんご承

知のとおり、2015年に映画「あらうんど四万十」が国内で全国公開、海外では台湾やメキシコで配給され、エバー航空国際線でも機内上映されており、これに続き、映画「サムライせんせい」が平成の薩長土肥4県での先行上映に続き、この秋より全国公開、また海外配給も商談が進んでおり、拡大展開が期待できそうです。

現在ではスマートフォン、タブレットの普及により、アマゾンプライム、フールー、ネットフリックスに代表されますビデオオンデ